

---

## データのバックアップ

入力したデータは自動的にバックアップデータを作成します。バックアップデータは元のデータが開かなくなったときなどデータが復旧できない場合に使います。

(注意) パソコンが壊れた場合は、バックアップデータも復旧できないので、大切なデータはCD-ROMやフラッシュメモリなどに定期的に保存するようにしてください。

### ■ バックアップデータを作成するしくみ

データ保存直後はバックアップデータは作成されません。もう一度データを開き、**開いた後の最初の保存直後**にバックアップデータを作成します。

同じ日に何回か保存した場合でも、上書き保存を繰り返すだけでは、バックアップデータは更新されません。上記の規則でバックアップデータも更新されます。

### ■ OS X Lionのバックアップデータの場所

【ハードディスク】→【ホーム】→【ライブラリ】→【Application Support】→

【com.plato-web.mastermoney】→【MasterMoney Backup】フォルダの中に保存されます。

ホームのライブラリは隠しフォルダになっているので、Finder画面にしてから(デスクトップ)「option」キーを押しながら、「移動」から「ライブラリ」で画面を開きます。

### ■ バックアップデータの名前について

下図のように、データに日付が付きます。

(例) 家計.08-04-12...元のデータ名.年月日

家計.08-04-13...元のデータ名.年月日

「家計」と名前を付けたデータの、2008年4月12日と4月13日のバックアップデータという意味です。



### ■ バックアップデータを開く

開きたいバックアップのデータを別の場所にコピーしてから「ファイル」メニュー→「開く」からデータを選択して開きます。

バックアップデータは「名称未設定」というファイル名で開きます。バックアップデータを、正式データにしたい場合は、保存時に新しい名前を付けて保存してください。

### ■ バックアップの数の設定を変更する

マスターマネーのバックアップファイルの数を変更できます。(最大10個)

データごとに設定はできません。アプリケーションの設定なので、他のデータも同数でバックアップファイルを作成します。同じデータの場合、最大数を超えると古い日付のものから削除されます。

「MasterMoney」メニュー→「環境設定」の「その他」タブをクリックし、バーを左右にドラッグして数を設定します。